

2018年6月 大阪芸術大学・短期大学・大学院 特別講義
『動物芸術論 特別講義』 開催のご報告



「ワイルドライフアートの挑戦 野生動物保護&自然保全」と題してお話をいたしました。大学・短期大学・大学院生のみなさん 約250名の方がご出席して下さった特別講義は、前半に現在力を入れている活動「絵を通した日本における絶滅危惧種保護」についてお話しをさせていただき、後半は観察眼を磨く意味も込め「動物画」の実技指導・添削・講評をおこないました。



受講生はデザイン学科の方だけではなく、建築デザイン・舞台芸術など様々な分野でクリエイターを目指す学生さんがおられました。自然のなかから得られるインスピレーションが彼らの創造力を掻き立てる要因のひとつになれば嬉しいです。環境デザイン・建築デザインの学生さんとは、将来エリア毎に自然を活かした建築物の想像など、彼らの将来へ対する「夢」のお話もお聞きすることができて、私も多くの刺激を受けました。



講義終了後も、熱心な学生さんが列を作り、話を聞きに来てくれました。そのなかにはサーモス社猛禽類マグを購入して下さった方もおられ講義後、サインを求められるという初めての経験もさせていただきました。

最後になりますが、このような場をご提供下さった大学のご関係者の皆さまに大変感謝と致します。ありがとうございました。現在、人と動物たち関係を考える学会への参加もお声掛けいただいております。これからも次世代へ動物・自然を繋げる活動に力を入れたいと思います。より良き伝道者?へなれるよう頑張ります。

Society of Animal Artists Signature Member 岡田宗徳